

市報 やまぐち

2023

6/1

June

No.414

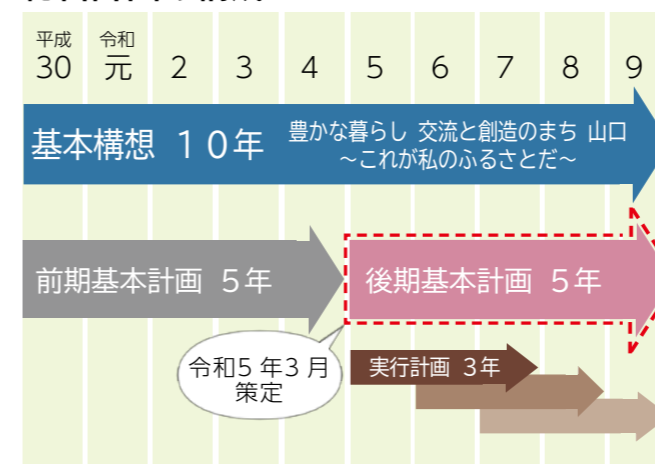


特集	第二次山口市総合計画後期基本計画 がスタート	2
	■「いざ」という時のために「今」から備える	6
	■市政トピックス	8
	■令和5年春の叙勲・褒章および第40回危険業務従事者叙勲受章者	9
	■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	10
	■山口情報芸術センター〔YCAM〕見どころガイド	10
	■野菜を使った2つの食材のできるかんたんおにぎり	11
	■新型コロナウイルス感染症について	12

表紙の写真：第二次山口市総合計画後期基本計画策定に向けたワークショップなどの様子

本市では、令和5年3月に「第二次山口市総合計画後期基本計画」を策定しました。総合計画とは、市のまちづくりを総合的、計画的に進めるための市民共通の指針です。第二次山口市総合計画は、平成30年度から10年間を計画期間とする「基本構想」、5年間を計画期間とする「基本計画」、3年間を計画期間として施策・事業の優先度や財政状況に応じて毎年度見直しを行う「実行計画」で構成されています。

総合計画の構成



数値によるまちの姿

人口減少と少子化に歯止めをかけ、高齢化が進展する中であっても、豊かで安心して暮らせるまちづくりを進め、さらなる豊かさや活力につなげていくため、計画期間の最終年度である令和9年度におけるまちの姿を3つの数値で表しています。

Table with 3 rows: 1. 定住人口 (Resident population), 2. 交流人口 (Exchange population), 3. ふるさと指標 (Local index). Each row shows actual values for Heisei 29 and Reiwa 4, and target values for Reiwa 9.

Special Thanks

「共につくる」総合計画 後期基本計画の策定にあたっては、たくさんの方々にご協力をいただきました。

山口市総合計画策定協議会

協議会委員(女性比率:50% 平均年齢:約51歳)

Table listing members of the Comprehensive Plan Formulation Committee, including their affiliations and names.



9回にわたる協議会での議論



協議会から市長へ答申

- List of activities: 共につくる未来懇話会, 「大好きなまち山口」絵画コンクール, パブリック・コメント, 大学生・子育て世代を対象にしたアンケート

企画経営課 083-934-2747

これから5年間の後期基本計画では・・・ 新市発足以降のまちづくりを仕上げていきます

市内の21地域づくり

- List of initiatives for the 21 local areas, including regional association establishment and center renovation.



建て替え整備した二島地域交流センター

小郡都市核づくり



新山口駅の拠点性を高める周辺整備



KDDI 維新ホールのさらなる活用



新山口駅北地区の市街地再開発支援

山口都市核づくり



新本庁舎の建て替え整備



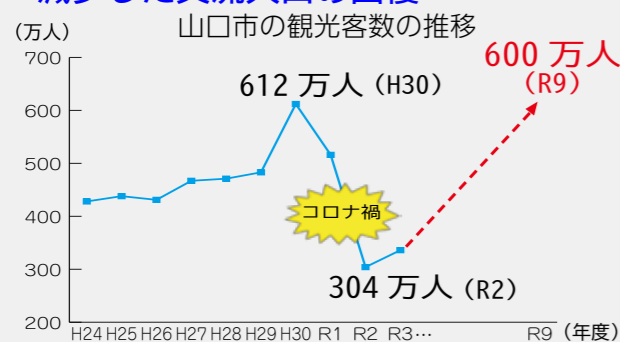
歩きたくなるまちなかづくり(山口駅通り)



(仮称)湯田温泉パークの整備

山口市を取り巻く状況を踏まえた重点的な取り組みを進めていきます

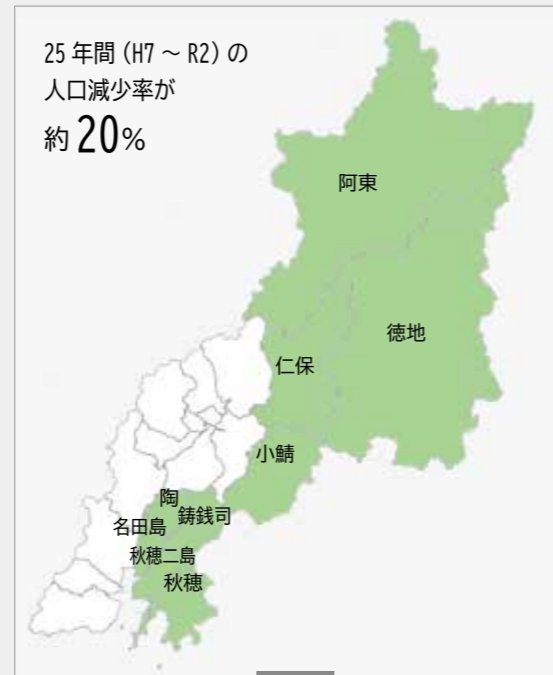
新型コロナウイルス感染症の影響により減少した交流人口の回復



人口減少が進む農山村エリア※の活性化

※仁保、小鯖、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地、阿東の9地域

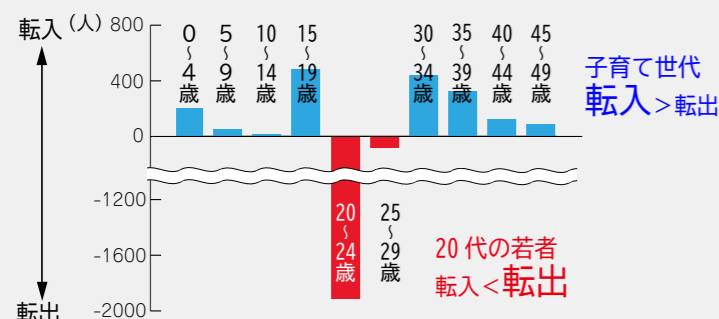
25年間(H7~R2)の人口減少率が約20%



地域外への人口流出を食い止める

子育て世代からさらに選ばれるまちづくり 20代の若者の市外流出の抑制

山口市の年齢別の転出・転入の状況(H27年10月~R2年9月の合計)



6つの重点プロジェクト

計画の全文は
こちらから



1. 子ども・子育て 全力応援のまちづくり

- 子育て世代からさらに選ばれるため、安心して子どもを育てられるまちづくりを進めます。
- 子どもたちが社会の中で自分らしく幸せに生きるための力を育む教育環境づくりを進めます。



主な取り組み

「こども家庭センター」の設置、保育所の待機児童の解消、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進、市立中学校の部活動の地域移行への対応 など

2. 若者活躍と雇用創出の 環境づくり

- 若者の大都市圏への転出を抑制するために、若者が活躍できるまちづくりや、雇用創出に向けた取り組みを進めます。
- 農林水産業や商工業・サービス業の活性化、働きやすい職場環境づくり、あらゆる産業分野で人材の確保と育成を進めます。



主な取り組み

若者の遊び場や交流の充実、農林水産業の新規就業者支援、中小企業の経営安定化や成長支援、企業誘致の推進、女性が活躍しやすい環境づくりの推進 など

3. 人生100年時代の 元気活躍のまちづくり

- あらゆる世代が生涯にわたって元気に活躍できるよう、市民一人ひとりの健康づくりを進め、住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- 大学等が多く立地しているという特長を生かした学びのまちづくりを進めます。



主な取り組み

二次救急病院の機能の維持・向上、過疎地域における医療体制の維持・確保、障がいによる差別の解消の推進、地域人材の活躍の場づくり など

4. 21地域づくりと 農山村活性化

- 市内21地域で、個性が際立ち、人と人がつながり、あらゆる世代が将来にわたって安心して住み続けられる地域づくりを進めます。
- 農山村エリアの転出超過の抑制を図るため、地域経済活性化や移住・定住の促進に向けた取り組みを進めます。



主な取り組み

地域交流センターの機能強化や複合化、農山村にぎわい計画の策定・推進、道の駅等の機能強化・移転整備、空き家利活用の促進、子育て世帯等の定住促進に向けた取り組みの検討 など

5. 元気な県都づくり

- 山口・小郡の都市核づくりを進め、新幹線駅・大学・救急医療などの高次の都市機能を集積することで、市内や山口県中央部のあらゆる地域に安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- 文化・観光・スポーツなどの個性を生かした交流創出により、経済活力を生み出します。

主な取り組み

新本庁舎の建て替え整備、(仮称)湯田温泉パークの整備、公共交通機関の利用促進・利便性の向上、県農業試験場等の跡地利活用の検討推進、レノファ山口FC等との連携による交流創出 など

6. 持続可能な 未来都市づくり

- 学都山口としての特性を生かした学びのまちづくりによる、人材育成を進めます。
- デジタル化や地域脱炭素などの新しい流れに対応し、市民の皆さんの未来に向けたチャレンジを応援することで、将来にわたって発展を続けるまちづくりを進めます。

主な取り組み

地域共創プラットフォームを活用した産学官金連携の取り組みの推進、行政手続のデジタル化、マイナンバーカードの普及促進、地域の特性や資源を生かした地域脱炭素の取り組みの推進 など

すべてのプロジェクトに関連する事項

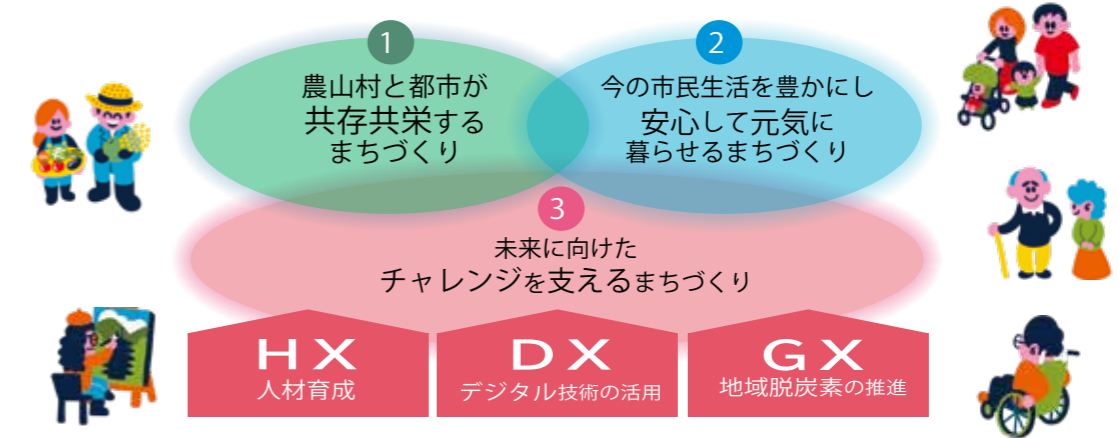
- 公共施設・公有地の活用による地域活性化
- ハード・ソフト両面からの市民の暮らしを守る防災のまちづくり

これからの5年間のまちづくりの方向性

「ずっと元気な山口」の実現

～誰もが活躍し まちもひとも 今も未来も 元気な山口に～

このたびスタートした「第二次山口市総合計画後期基本計画」では、この方向性のもと、以下の3つの視点と3つのX(トランスフォーメーション)でまちづくりを進めます。



1 農山村と都市が共存共栄するまちづくり

「個性と安心の21地域づくり」と「広域県央中核都市づくり」の取り組みを一体的に推進し、好影響・好循環の対流型のまちづくりを進めることで、農山村も都市も共存共栄し、すべての地域で安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

2 今の市民生活を豊かにし、安心して元気に暮らせるまちづくり

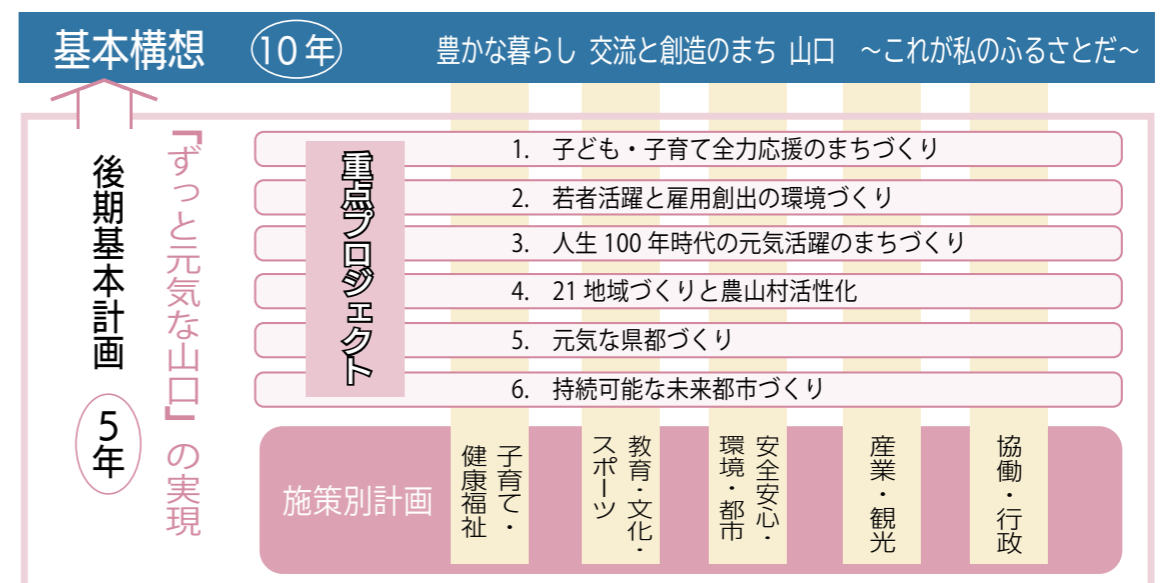
あらゆる施策分野において、環境の変化に対応し、安心して元気に暮らすことのできるまちづくりを進めます。また、コロナ禍において影響を受けた地域経済活動への対応や原油価格・物価の高騰等への対応を通じて、市民の皆さんの暮らしと地域経済を守り抜き、元気を取り戻すための取り組みを全力で進めます。

3 未来に向けたチャレンジを支えるまちづくり

新たな時代に対応しながら、市民の皆さんの未来に向けたチャレンジを、大学等をはじめとした関係者との連携のもとで支えます。こうしたチャレンジを支える基盤として、「人材育成(HX:ヒューマントランスフォーメーション)」、「デジタル技術の活用(DX:デジタルトランスフォーメーション)」、「地域脱炭素の推進(GX:グリーントランスフォーメーション)」の3つのXの取り組みを一体的に進め、地域社会を守り、市民生活をより良いものへと変革していくことで本市の持続的な発展につなげます。

後期基本計画の構成

施策を横断し重点的に対応すべき取り組みを6つの重点プロジェクトとして構築し、効果的に事業を展開します。



山口市固定電話 PUSH サービス


スマートフォンや携帯電話をお持ちでない方を対象に、固定電話へ音声で防災情報を配信します。

【利用方法】
事前に防災危機管理課（☎ 083-934-2723）に申し込みが必要です。

山口市 LINE 公式アカウント

気象情報や避難情報等を配信します。

【登録方法】
友だち追加は下の二次元コードから



山口市防災メール

気象情報や避難情報等を配信します。

【登録方法】
①「yamaguchi@jijo.bosai.info」へ空メールを送信
②返信メールから登録画面を開いて入力
※迷惑メールの設定を確認して「yamaguchi@jijo.bosai.info」からメールが届くようにしてください。

POINT
防災お役立ち情報

本市では複数の伝達手段で防災情報を発信しています。いざという時に正確な情報を手に入れることができるよう、事前に登録をお願いいたします。

NEW **山口市ダッシュボード**

パソコンやスマートフォンで「山口市ダッシュボード」を閲覧し、さまざまな防災情報を一つの地図上で確認することができます。

【地図上に表示できる情報】

- ・ハザードマップ
- ・避難所開設情報
- ・避難情報発令状況
- ・気象情報、観測情報

ご利用はこちらから！

山口市ダッシュボード

または右の二次元コード 



▲ハザードマップと避難所開設情報を表示した画面イメージ



「いざ」という時のために「今」から備える

梅雨を迎えるこれからの季節は、大雨による土砂崩れや河川の氾濫等の災害が発生しやすい時期です。「数十年に一度」や「これまでに経験したことのない」といった規模の豪雨や台風による災害が、全国各地で毎年のように起きています。本市においても昨年9月に到来した台風14号は、当初は過去最強クラスと予想されていました。幸いにも大きな被害はありませんでしたが、大規模災害はテレビや新聞の中の出来事ではなく、いつ自分や大切な家族の身に起こるかわかりません。突然の災害に対して、いざという時の避難準備は万全でしょうか。自分が住む地域の災害リスクの把握、防災情報を集める手段の確認、避難する時の持ち物の準備など、「いつか」やろうと思っても、ついつい後回しになりがちです。

自分や大切な家族を守るため、梅雨や台風シーズンを前に、「いざ」という時に落ち着いて行動できるよう、「今」から準備を始めましょう。

問 防災危機管理課 ☎ 083・934・2723



POINT
我が家に合わせた準備 非常用持ち出し袋

避難した際に、当面必要となる最小限の物資をリュックにおさめた「非常用持ち出し袋」。準備するには時間がかかりますが、一度にやろうとせず、家庭にあるものから少しずつそろえていくのがおすすめです。市販の非常用持ち出し袋を購入し、年齢や性別等に応じて必要な物を調整する方法もあります。

家庭内備蓄

- 飲料水、食料、お菓子
- 懐中電灯、携帯ラジオ
- 下着、生理用品
- 軍手、タオル、マスク
- 筆記用具
- 貴重品（現金、保険証など）
- 雨具
- 携帯電話
- モバイルバッテリー
- 毛布または寝袋
- ティッシュペーパー
- メガネ、コンタクトレンズ
- 常備薬、消毒液、ばんそうこう
- 上靴

大きな災害が起きたとき、ライフラインが復旧するまでの家庭内備蓄も必要です。普段から少し多めに食料を買い置きし、古いものから食べては買い足していく「ローリングストック法」で災害に備えましょう。

買う **備蓄** **食べる**

コラム **避難行動を邪魔するのは自分？**

大雨や台風などの際、避難情報を知っていても、避難行動に結び付かず、被害を発生させることがあるのはなぜでしょうか。人間には平常時に「誰も被災する可能性がある」と思っている、現実には危機が差し迫った状況では「自分だけは大丈夫」、「この場所は大丈夫」と思い込んでしまう困った特性があります。これを「正常性バイアス」といいます。心の平穏を保つための特性が、自分の身を危険にさらしてしまうこともある。こうしたことを理解した上で、「今」から災害への備えを始めましょう。

警戒レベル	避難情報	とるべき行動
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難。高齢者等以外の人も必要に応じ自主的に避難。
4	避難指示	危険な場所から全員避難。台風などにより暴風が予想される場合は暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
5	緊急安全確保	安全な避難が難しい状況。命が危険な状況なので、直ちに身の安全を確保する。

NEW

保存版 いつでも目の届く場所に置いておきましょう。
備えて安心 山口市 防災ガイドブック

「山口市防災ガイドブック（津波・高潮編）」をリニューアルします。高潮の浸水想定区域を、台風の規模などの条件を厳しくし、想定される最大規模の設定で作成直しています。該当する南部地域に市報7月15日号と同時に配布予定です。

POINT
危険な場所を知る

「山口市防災ガイドブック」には、浸水や土砂災害が発生する恐れが高い区域を着色した地図（ハザードマップ）を掲載しています。自分が住んでいる地域にある災害リスクや、避難場所までの安全な経路などをあらかじめ確認してみましょう。「山口市防災ガイドブック」は、市ウェブサイトや地域交流センターで入手可能です。





秋穂二島地域で活動する地域おこし協力隊が着任しました

4月14日（金）、秋穂二島地域で活動する地域おこし協力隊の着任式を市役所で行いました。

このたびに着任した中井一夫さんは、兵庫県出身で、化粧品メーカーで営業や予算管理、人事マネジメントに携わってこられました。こうした経験を生かし、秋穂二島地域ですぐに活動をしておられる山崎美登里隊員、渋谷桃子隊員と共に「真の山口産畜産物のブランド化のための飼料用トウモロコシの普及拡大」をテーマに活動します。



着任式の様子

着任式で副市長は「これまでの社会人経験で培ってこられたスキルと技術を最大限発揮していただき、飼料用トウモロコシの普及拡大に向けて大いにチャレンジしていただきたい」と激励しました。中井さんは「農業に関する知識、技術、経験はないが、皆さんの支援や応援

在京都フランス総領事が市長を表敬訪問されました

体制がある中で、やっていけると確信を持っている。本当の意味での地域おこし協力隊になってみせます」と意気込みを述べられました。
☎農業振興課 ☎083・934・2815

4月18日（火）、ジュール・イルマン総領事が、市長を表敬訪問されました。イルマン総領事は、令和元年9月に着任し、フランス語教育と日仏文化交流に努めるフランス政府の公式文化機関「アンステイチュ・フランセ関西（関西日仏学館）」の館長を兼務されており、コロナ禍で見送られていた着任のあいさつとして、市役所を訪問されました。



記念撮影の様子

山口情報芸術センター「YCACM」においてフランスにゆかりのあるアーティストが制作した作品の展示をしたことや、フランス在住の植物学者兼アーティストであるパト

待している」と激励しました。
☎文化交流課 ☎083・934・2717

在大阪フィリピン共和国総領事が市長を表敬訪問されました

5月10日（水）、ヴォルテール・デラクルス・マウリシオ総領事が、市長を表敬訪問されました。マウリシオ総領事は、令和3年4月に着任され、コロナ禍で見送られていた着任のあいさつを兼ねて、市役所を訪問されました。
市長は、「本市では、人口減少などのさまざまな課題に取り組んでおり、地域の活性化にはフィリピン出身の方をはじめ、外国人市民の皆様のご活躍も欠かせないと考えています。外国人市民の皆様にとって暮らしやすいまちになるように、支援等にも取り組んでいる」とあいさつしました。



記念撮影の様子

マウリシオ総領事は、「フィリピンの総領事が山口市を訪れるのは初めて。今後、フィリピンと山口市で、文化や観光などの分野で交流や連携をしていければ」と述べられました。
☎国際交流課 ☎083・934・2725

リック・ブラン氏が監修したJR新山口駅南北自由通路の「垂直庭園」、中原中也がフランスの詩人アルチュール・ランボアの詩を日本語に翻訳し、中野の詩集がフランス語に翻訳されたことなど、文化面での交流について、意見交換をしました。
市長は、「これからも連携して交流を深めていきたい」とあいさつしました。イルマン総領事は、「日本のランボーと言われる中原中也ゆかりの地である山口市は、フランス人、特にシニア層に注目されると思う。日本に興味を持ってきている若者も多いので、学校間など若い世代の交流も、これからもっと進めていければ」と述べられました。
☎国際交流課 ☎083・934・2725

山口市榎野川東土地改良区が「第64回全国土地改良功労者等表彰 農林水産大臣表彰」を受賞

山口市榎野川東土地改良区が「第64回全国土地改良功労者等表彰 農林水産大臣表彰」を受賞され、4月18日（火）、同土地改良区の浅原理事長、山口県土地改良事業団体連合会の道中事務局長が報告のため市役所を訪問されました。

同土地改良区は、昭和50年代より基盤整備と排水対策の取り組みを続けてこられ、水田の汎用化や計画的

な排水対策等の推進により、麦、タマネギ、県オリジナル野菜はなっこりーは、県内有数の一大産地として形成されています。また、農業用機械の自動運転などスマート農業の推進による先進的な農業生産モデルも構築され、地域農業の確立に大きく貢献されています。
このような先進的農業生産モデルによる強い農業づくり、時代に即した地域一体となった組織運営体制の整備などの取り組みが、全国の土地改良区の模範となるものと評価され、受賞に至りました。



記念撮影の様子

「第28回中原中也賞」贈呈式を開催しました

浅原理事長は「土地改良区の取り組みを知っていただき、農地保全への関心を高めていきたい」と述べられました。市長は「今回の受賞は、これまでの素晴らしい取り組みの成果であり、これからも頑張っていたきたい。市としてもしっかり支援していきたい」とたたえました。
☎農林整備課 ☎083・934・2824

4月29日（土・祝）、新人詩人の

令和5年春の叙勲・褒章および第40回危険業務従事者叙勲受章者

春の叙勲・褒章および危険業務従事者叙勲を、市内の26の方が受章されました。受章された方は次の通りです。※()内は功績、年齢、主要経歴(敬称略)

☎総務課 ☎083-934-2908

旭日双光章

戸田岸蔵（林業振興功労71元山口県森林組合連合会理事）
松永君子（消防功労87現山口県婦人防火クラブ連合会会長）

瑞宝中綬章

益本圭太郎（総務省行政事務功労70元総務省中国四国管区行政評価局長）

瑞宝小綬章

兒玉啓一（地方自治功労75元山口県公営企業管理者）
平尾幸雄（地方自治功労71元山口県総務部長）

瑞宝双光章

河村博次（消防功労75元山口市消防団団長）／岡本秀樹（防衛功労61元3等陸佐）／尾崎幹夫（警察功労73元山口県警部）／小林俊明（警察功労73元警視正）／田中守（警察功労73元山口県警部）／徳久哲雄（警察功労73元山口県警視）／中村正光（防衛功労61元3等陸佐）／林寛晴（警察功労73元警視正）／藤井直人（防衛功労61元1等陸尉）／三野裕章（警察功労74元山口県警部）／村田良夫（警察功労73元山口県警視）

瑞宝単光章

石丸栄喜（消防功労73元山口市消防団副団長）／刈屋英里（児童福祉功労62元愛児園平川保育所主任保育士）／中野豊（消防功労73元山口市消防団分団長）／石川英雄（警察功労73元山口県警部補）／磯村浩寿（防衛功労61元3等陸尉）／川野孝久（警察功労73元山口県警視）／佐々木廣（警察功労73元山口県警部補）／土山浩一（防衛功労61元3等陸尉）

藍綬褒章

永末あき子（統計調査功績61元家計調査員）
安光真裕美（選挙関係事務功績66現山口県明るい選挙推進協議会委員）

野菜を使った2つの食材でできるかんたんおにぎり



1日3食、主食・主菜・副菜をそろえて食べることを習慣づけるきっかけになるよう、また、不足しがちな野菜を簡単においしく食べることができるよう、小中学生を対象に「第17回ばく・わたしのお料理コンクール」として、「野菜を使った2つの食材でできるかんたんおにぎり」のレシピを募集しました。その中の入賞作品を紹介します。（学年は昨年受賞時）

入賞作品の作り方を掲載したリーフレットは、各保健センターにあります。
 保健センター ☎ 083-921-2666

枝豆×ちりめんじゃこ



野田学園中2年 吉田光織さん考案
CaFeおにぎり

【作り方】

- 1 むき枝豆（冷凍）は袋の表示通りに解凍しておく。
- 2 炊いたごはんには粉チーズをまぶす。
- 3 むき枝豆とちりめんじゃこを加えて混ぜ、おにぎりにする。

不足しがちなカルシウム（Ca）や鉄（Fe）がとれるおにぎりです。

【材料（4人分）】

- ごはん……………2合分
- むき枝豆（冷凍）……80g
- ちりめんじゃこ………50g
- 粉チーズ……………小さじ2



ごはんが温かいうちに粉チーズをまぶそう！



ピーマン×にんじん



小郡中1年 鈴木結心さん考案
しょうゆいため野菜のおかかおにぎり

【作り方】

- 1 ピーマン、にんじんは細切りにする。
- 2 フライパンに油を熱し、1を炒める。
- 3 炒めたら、砂糖としょうゆを入れてさらに炒める。かつお節を半分入れ、混ぜる。
- 4 炊いたごはんの中に3を入れ、にぎる。
- 5 残りのかつお節をまわりにまぶして完成。

- ごはん……………2合分
- ピーマン……………2個
- にんじん……………1/4本
- サラダ油……………小さじ1
- 砂糖……………小さじ1
- しょうゆ……………小さじ1
- かつお節……………5g

手軽に使えるかつお節は、ごはんとの相性抜群で栄養たっぷり！



圏域の市町におでかけしよう！

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町のイベント情報

美術 芸術村フェスティバル

「みる・きく・体験する」をキーワードに、秋吉台国際芸術村を「まるごと」使った市民参加イベント。県民活動団体の出展やワークショップ、県内アーティストのパフォーマンスなど盛りだくさんの1日。

日時 6月18日（日）10時～15時

所 秋吉台国際芸術村（秋芳町吉吉50）☎ 0837-63-0020

山陽小野田 山口県交響楽団演奏会「山響サマーコンサート」

指揮者に福田隆氏を迎え、ドヴォルザーク「新世界より」第2章などを演奏します。指揮者体験や楽器体験も実施します。

日時 6月25日（日）14時10分開演（13時開場）

料金 一般1,000円、高校生以下無料

所 不二輸送機ホール（大字郡1754）☎ 0836-71-1000

萩 木間菖蒲園まつり

紫や白、ピンクなど色とりどりの約600株のハナショウブが、休耕田に咲き誇ります。地元加工の特産品販売、神楽の披露、お米のすくいどり等が行われます。

日時 6月18日（日）9時～15時

所 木間地域活性化センター（山田491-2）☎ 0838-27-0200

宇部 ぶちのりパスポート

ときわ遊園地の乗り物が1日1,000円で乗り放題のパスポートです。

日時 6月25日（日）10時～17時（販売時間は10時～15時）

場所 ときわ遊園地（則貞三丁目4-1）

所 宇部市ときわ公園課 ☎ 0836-54-0551

津和野 津和野夜神楽 2023

日本遺産「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」を構成する石見神楽の幽玄な演舞をご堪能ください。（事前予約制）

日時 6月17日（土）20時～20時50分ごろ

場所 藩校養老館（後田口66）

定員 先着30人
 所 津和野町観光協会 ☎ 0856-72-1771

防府 アジサイまつり

西のアジサイ寺として知られる東大寺別院阿弥陀寺。山アジサイ、ガクアジサイ、西洋アジサイなど約80種約4,000株のアジサイが、境内を美しく彩ります。

日時 6月1日（木）～6月30日（金）9時～17時

料金 一般200円、中学生以下無料
 所 東大寺別院阿弥陀寺（牟礼1869）☎ 0835-38-0839

知れば、もっと楽しい！

山口情報芸術センター
 Yamaguchi Center for Arts and Media

見どころガイド vol.2

問 山口情報芸術センター [YCAM] ☎ 083-901-2222

山口から世界へ発信する新しい価値

YCAMでは開館以来、数多くのアーティストとともに作品を制作し、発表してきました。東アジアへのアクセスが容易で、古くから国際色豊かな山口らしさを反映して、国内のアーティストだけでなく、海外を拠点とするアーティストとのコラボレーションが多いのがYCAMの特徴です。

しかもただYCAMで制作するだけではなく、山口の固有の歴史や地域性を織り込んだ上で作品を制作し、それを国内外に発信しており、「山口から世界へ」を体現しようとしています。

2021年にシンガポールを拠点に世界的に活躍するアーティストのホー・ツニーエンと作品を制作した際は、山口にもゆかりが深い哲学者の西田幾多郎を中心に形成された



『ヴォイス・オブ・ヴォイド 一虚無の声』（2021年）

グループで、1930年代から40年代の日本の思想界で大きな影響力を持った「京都学派」をテーマに据えて、作品制作を進めました。そうして完成したのが「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」という作品で、コロナ禍にもかかわらず国外でも展示を重ねてきました。

ことし6月3日からは、台湾を拠点とするアーティストの許家維（シュウ・ジャウエイ）、張碩尹（チャン・ティントン）、鄭先諭（チェン・シェンユウ）による新作を発表する展覧会「浪のしたにも都のさぶらふぞ」を開催します。こちらは関門海峡と台湾をつなぐ、戦前の知られざる歴史に焦点を当てており、人形浄瑠璃とCGアニメーションを融合させた、異色の新作が世界初公開となります。この機会にぜひご鑑賞ください。



「浪のしたにも都のさぶらふぞ」の制作の様子（2023年）

新型コロナウイルス感染症について

5 類感染症に変更されました（厚生労働省資料より抜粋）

令和5年5月8日から、感染症法上の位置付けが変わり、新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ5 類感染症に変更されました。行政が感染対策について一律に取り組みを求めることはなくなり、個人や事業者が自主的に取り組むものとなります。

本情報は5月16日時点のものです。**変更等の可能性がありますので**、最新の情報は市ウェブサイトをご覧ください。市ウェブサイトは各地域交流センターと分館でも閲覧できます。



市ウェブサイト

【お問い合わせ先】

新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口（厚生労働省）
☎0120-761-770（毎日9時～21時）

新型コロナウイルス（5 類感染症）Q&A

Q 基本的な感染対策はどう変わるの？

A 個人の判断に委ねることが基本になります。国から情報提供されている考え方等は、以下の通りです。皆さんの判断にお役立てください。

■ マスクの着用を推奨する場面等

- ・ 医療機関の受診時や医療機関・高齢者施設等を訪問する時
- ・ 混雑した電車やバスに乗車する時（新幹線・高速バス等を除く。）
- ・ 重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦等）が、感染拡大時に混雑した場所に行く時
- ・ 医療機関や高齢者施設等の従事者が、勤務している時
- ・ 症状がある方、陽性者、同居家族に陽性者がいる方は、外出を控える。通院等、やむを得ず外出する時は、人混みは避け、マスクを着用



■ 「3つの密」の回避、人と人との距離の確保

流行期において、重症化リスクの高い方は、以下を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合は、マスクの着用が有効）

- ・ 換気の悪い場所
- ・ 不特定多数の方がいるような混雑した場所
- ・ 近接しての会話

■ 手洗い等の手指衛生、換気は引き続き有効



Q 「新型コロナに感染したかも？」と思ったら？

A 医療機関に行く前に、慌てずに症状や常備薬を確認し、国が承認したキットを使って検査してください。重症化リスクの高い方や症状が重いなどで「受診を希望される方」は、かかりつけ医等に連絡しましょう。受診する医療機関に迷われる方は、受診・相談センター（山口県）☎ # 7700 または ☎ 083-902-2510（毎日24時間）へ。
※発熱などの体調不良時に備えて、「新型コロナ抗原定性検査キット」や「解熱鎮痛剤」を準備しておきましょう。

Q 療養期間は変わるの？

A 外出を控えるかどうかは、個人の判断に委ねられます。国から情報提供されている考え方等は、以下の通りです。皆さんの判断にお役立てください。

■ 発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は、外出は控えていただくことを推奨

■ 発症後10日を経過するまでの間は、マスクの着用や重症化リスクの高い方との接触は控えていただくことを推奨

Q 「濃厚接触者」の取り扱いはどう変わるの？

A 保健所から濃厚接触者として特定されることはなくなり、法律に基づく外出自粛は求められません。

新たなまちづくりのスタート

今号の特集記事で紹介していますように、本市では、4月から、「第二次山口市総合計画後期基本計画」による新たなまちづくりがスタートしています。

また、同時に、この計画に基づくさまざまな施策をしっかりと推進するための組織改編も行っています。

昨年度は、本市の基幹産業である農林水産業の振興を図るため、私の最初の取り組みとして、「農林水産部」を新設しましたが、本年度から、さらなる体制強化に向け、同部内に「農山村づくり推進課」を設置いたしました。

今後は、この課を中心に、人口減少が進展する農山村エリアの活性化につながる取り組みを計画的に進め、市民の皆様が将来にわたって安心して住み続けられる地域づくりを展開してまいります。

そして、こうした取り組みと、新本庁舎や（仮称）湯田温泉パークの整備、開館20周年を迎えるYCAMや新山口駅北口のKDDI維新ホールを活用した取り組み等を一体的に進め、誰もが活躍し、まちも人も、今も未来も、元気な山口を実現してまいります。

山口市長

伊藤和貴



©りおた

